



2018年9月発行  
 社会福祉法人 ありのまま舎  
 (障害者自立企画)  
 発行責任者 高橋 治  
 編集責任者 白江 浩  
 編 集 佐藤 環  
 〒982-8544  
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1  
 TEL022(243)1300  
<http://www.arinomama.or.jp/>  
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

### 街頭PR活動報告―5〜8月までの中間報告― 地域生活支援拠点整備の周知と現状の課題

5月からPR活動を開始し、4か月となりました。

亘理町に建設中の地域生活支援拠点整備のためにご協力をお願いすることを中心に活動していますが、今年度の募金額は非常に少なくなっています。活動するスタッフの人材不足に加えて、この夏は暑さが厳しい日が多く、活動に参加したいと準備をしてくださっていた元入居者の方や入居者の方には熱中症予防のためお休みいただく回数が多く一緒に活動できる機会も減っています。また、日本で自然災害が相次ぎ、そちらを支援される方も多くおられるのだと思います。

配るチラシを定期的に見直し、地域生活支援拠点の状況やスタッフの募集、建設資金のお願い、併せて啓発活動として行っている「ありのまま生活福祉講座」や「ありのまま自立大賞」の周知、活動資金となるバザー会への協力をお願いしています。



亘理町の地域生活支援拠点整備のチラシを見た方からは、「亘理町に建設していること初めて知ったよ。」「大変なこと多いと思うけど頑張つて。」「亘理から仙台に出かけてきたという方は、「大きな建物が建っているなと思ったら、ありのまま舎だったのね。」など声をかけてください。

これから少しずつ活動しやすい気候になると思います。当舎の活動の原点ともいえるこのPR活動は、直接ふれあいのできる場として大切にしていきたいと思っています。

### 薫る風

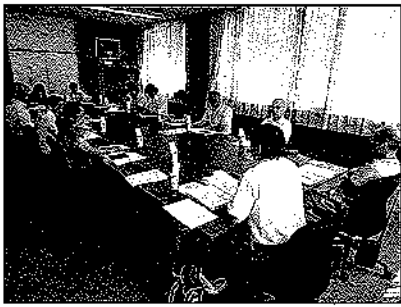
旧優生保護法の下で、障害のある人への強制不妊・避妊手術に関する報道がない日はないほど、新聞各紙が取り上げていたのは、私がこの問題に初めて触れたのは、障害者運動に関わり始めた1970年代のことです。関係者の間では暗黙の事実として語られていた。そのことを告発する集会も開かれ、当事者の方々の声も聞いた。私も機会を見て講演等でお話したことがあったが、過去形で話していたことを反省している。既に法律が変わってから20年以上が経過しているが、先般宮城の女性が訴訟を起こしたことで、この問題の検証が始まった。当事者の方にとって、決して過去の出来事ではないのだ。今も苦しんでおられたことに、私自身気づけなかった。当時この法律を推進した人も、どういう形であれ関わった人も、この問題を直視し、向き合う責任があると強く感じる。それは2年前のやまゆり園の事件を引き起こした優生思想に対して、きちんとした総括もせず、そのまま生かし続けてきたことに他ならないと思えるからだ。障害に限らず、様々な難病患者も同様の状況の中で今も生きている。出生前診断を受ける人は検査開始から5年で5万8千人を超え、陽性と診断された人の7割が人工妊娠中絶を選択された。「障害」や「病气」のこと以上に周囲の偏見・差別・未理解に苦しんでいる人が多いことは、今では多くの方が理解して下さっている。そんな差別や偏見も、当事者の方々の生き様が、少しずつそれを打ち消してきた。ありのまま舎運動もその一翼を担ってきた自負があったが、今回のことで、改めて取り組みの弱さを反省した。「共生社会」という言葉は障害者運動の中では、長年言われ続けてきたが、昨今よく耳にする「共生社会」と同じものなのか。時々疑問に思うことがある。(白江)

### 第1回県南エリアコミュニティ 地域生活支援拠点整備実行委員会開催 7月25日(水)

当舎が亘理町に現在建設中の地域生活支援拠点「亘理ありのまま舎」について第1回県南エリアコミュニティ地域生活支援拠点整備実行委員会を開催しました。

実行委員会の目的は、亘理町における地域生活支援拠点整備にあたり、地域住民、地域の障害福祉を中心とした関係機関、障害当事者の家族会、行政の方々に委員として参画していただき、開所後の運営のあり方、地域との関係、人材確保と育成等について、広くご意見・アイデアをいただきながら、当舎の理念・方針とのすり合わせを行い、地域に根ざした多機能型拠点施設として、期待に沿う運営を行うことを目的に設置したものです。

今年12月中の完成を目指し



順調に建設工事が進められ、建物の形がはつきり見て取れる状態になりました。多くの方々から利用に関するお問い合わせをいただいております。

第1回実行委員会は、9名の委員と、6名の事務局の計15名で開催致しました。

白江常務理事より事業化に向けた背景と経緯を中心に説明を行い、現在に至るまでの取り組みの経過説明を行いました。また、高橋事務局長補佐より現時点の建設整備状況と今後の見通しについての説明を行いました。各委員から意見として出された主な内容です。

#### ①施設作りについて

・地域の方が参加しやすい行事作りや地域の方に理解いただける施設作り

#### ②人材確保について

・地域の方向けの内覧会実施  
・ヴォランティアの活用 等  
・人材確保の難しさ  
・研究者とパイプを作ること  
で、マンパワーとしての学生の協力やPRへつなぐ

・地域の方々に仕事の内容を理解してもらえ取り組み  
・楽しく介護出来るような体験や研修会の開催

・活気のある職場環境づくり

#### ③その他意見

・避難通路の施設について(防犯上の安全管理)  
これらの貴重なご意見を頂戴致しました。

今後12月までの間、毎月1回(計6回)開催し、施設事業全般、人材確保、災害時支援(役割と機能)などについてご意見をいただき、事業実施に繋げて参ります。(齋藤)

#### ◆実行委員の皆様

- 小野里美さん(亘理町重症心身障がい児者親の会ベリーの会副代表、重症心身障害者の母)
- 末田耕治さん(宮城県肢体不自由児協会常務理事兼事務局長)
- 八巻昭仁さん(宮城県船形コロニーおおくら園園長)
- 神藤正さん(宮城県病院児童指導員)
- 古川拓さん(小島病院ソーシャルワーカー)
- 小松久美子さん(亘理町社会福祉協議会ホームヘルパーステーション管理者)
- 岡崎正利さん(民生委員、住職)
- 石川博章さん(亘理町福祉課班長)
- 二階堂晃棋(ありのまま舎理事)
- 佐藤洋子(ありのまま舎評議員・亘理町重症心身障がい児者親の会ベリーの会代表、重症心身障害児の母)

ご指導宜しくお願ひ致します

#### ◆就職説明会・見学ツアーを開催しています。ぜひ新たに開所する場所で共に働いてみませんか?

※詳しくはPRを「覧下さい。」

#### 連載

### 県南エリア地域生活支援拠点への歩み⑧ 〜東日本大震災から現在へ〜

入所施設は既に制度的には、「日中活動」と「夜から朝にかけての支援」は別の事業と位置付けられ、日中出かけて夜帰宅する「普通」の生活イメージの事業となつていく。しかしながら、太白ありのまま舎でもそれを実現している人は2人ぐらいいしかいない。以前の入所型施設同様、1日を施設内で暮らす方がほとんどだ。それは他の入所施設で大差はない。もちろん積極的にそれを進めようとしている施設もわずかだが存在する。今回の地域生活支援拠点が日中活動の質を重視するのは、自己実現に向けた選択肢の幅を地域資源の中にも広げることが目指しているからだ。それがどういう形態になるのかは、それぞれの生き方であり、選択だと思ふ。亘理町及びその周辺の地域における様々な社会資源をどう発掘し、入居者や利用者が選択し、実践できるか。正にコミュニティでの生き方の問題となることを目指している。「入所施設」は閉鎖的とよく言われるが、閉鎖的なのは「入所施設」に限らない。今回の地域生活支援拠点には、「通所施設」も「在宅支援事業」もあるが、その全てに言えることが、地域資源とのありようだ。開わりだ。そして、言うまでもなく、それはそこに住む人々、そこで活躍されている人々(交流人口)他地域から通ってくる人々)とのありようだと思つている。少し生意気な言い方をお許しいただけるなら、そこに住む人々が全て支援スタッフになって頂きたいということだ。ひとり車椅子でも十分行き来できる、拠点の半径500メートル以内に、スーパー、銀行、警察、消防署、小中学校、公民館、福祉事業所、病院その他様々な店や民家が存在する。拠点前には野球がでる。広さのグラウンドがあり、花火を上げたり、盆踊りもできそう。あとはやる気だけのよう。 (白江浩)



【自立ホーム仙台ありのまま舎リビングセンター】

町内会夏祭りに参加

8月12日(日)

自立ホームがある町内会では毎年夏祭りが開催されます。今年も天候に恵まれ、2名の入居者が参加しました。

大谷地町内会集会所の隣の空き地を利用して毎年夏祭りを開催していますが、今年はやぐらの位置を変え、盆踊りができるスペースを例年より広く確保し、子どもたちもたくさん踊り手さんたちで賑わっていました。

盆踊りが始まると子どもたちの輪ができ、入居者の方は近くの椅子に座り自然に手拍子されながらご覧になっていました。



やぐらの上では太鼓を生演奏される方、盆唄を唄われる方など、本格的な盆踊りでした。屋台では焼きそばや焼き鳥、フランクフルトなど出店が並び、好きな食べ物を購入されていました。

集会所までの歩行が難しい入居者のために今回も車を止めていただきました。配慮をいただきました。と皆さんに声をかけていただき地域の皆さんと共に夏祭りを楽しむことができました。(佐藤環)

【難病ホスピス 太白ありのまま舎】

生命を守る避難訓練 8月14日(火)

夜間火災想定での避難訓練を実施しました。今回は2階の脱衣室にある乾燥機より出火したという想定で訓練を行いました。

訓練は宿直者1名、夜勤者4名、宿舍応援2名の計7名での避難誘導を行いました。年2回火災による避難訓練を実施していますが、現状では体調により、訓練に参加出来ない入居者も多く、55名の入居者中20名程しか参加出来ない現状があります。

今回の訓練では出火場所が2階中央であったため、避難

場所まで誘導する際に、初期消火を行った出火場所を横切ってしまうことや、避難誘導する際に、どこに避難してもらうのかを伝えながら誘導するべきであった等の課題がありました。また数名の方はスタッフの介助でベッド上から車椅子への移乗が必要のため、本日の火災では眠っている多くの入居者を移乗し、誘導しなくてはならないことへの不安の声もありました。



居室から避難誘導を行うスタッフ

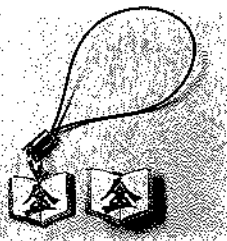
【法人本部】

徽章を作りました!

今年保育園が開所し、来年には「亘理ありのまま舎」の開所を控えています。

事業所が増え、職員増に伴い、ありのまま舎の一員として自覚を持って職員が日々活動や事業にあたるように職員が身につける徽章を作成しました。ピンバッチとストラップの2種類です。

この徽章に込められた思いや責任を忘れることなく意識をもって取り組んで参ります。



原点である出版活動をモチーフにし、本の形をデザインしました



レンタカー・カーリースのご用命は

トヨタレンタリース宮城

本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100  
リース部 / 仙台市宮城野区房町 3-6-25 電話 022-782-0022

- 本 町 店 022-224-0100 交 通 局 前 店 022-221-0100 一 番 町 大 学 入 口 店 022-263-0100 高 砂 店 022-254-0100
- 仙 台 駅 西 口 店 022-213-0100 仙 台 駅 東 口 店 022-293-0100 卸 町 店 022-237-0100 匠 野 286 店 022-246-0100
- 泉 中 央 駅 前 店 022-372-0100 泉 仙 器 店 0226-22-0100 新 幹 線 小 川 車 庫 前 店 0228-21-2100 新 幹 線 古 川 駅 前 店 0229-23-0100
- 石 巻 店 0225-22-0100 名 取 駅 前 店 022-381-0100 仙 台 空 港 店 0223-22-0100 船 岡 駅 前 店 0224-57-0100

新型ヴォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)  
その他ウェルキャブもラインナップしております。

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)

【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】  
 長年病院の療養介護で生活されて利用の方がおられます。一昨年、悪性腫瘍が見つかり手術を受けられましたが昨年転移が見つかりました。再手術を検討されましたが、ご本人に負担が大きく、また術後の予後を考えると現在の状態を長く続けた方が良くはないかと主治医からアドヴァイスがあり、何度も検討を行った結果、ご家族は手術を選択されませんでした。それから約1年が経過し、併設する特別支援学校に通うことを続けられています。

最近食事量に波があること、体重に変化が出てることなどご家族からご報告を受け、主治医にカンファレンスのお時間をいただき、データを利用しながら体重の変化、食形態の検討、今後考えられる状態について医師、看護師、指導員、相談員が集まり共有を続けています。緊急時の対応についても既にご家族の同意を得て、流れを確認し合っています。

一番近くで見えてこられたご家族にとって、日々の様子がとても気がかりで不安が大きく募っています。どんな小さなことでもいつもでもお話しを聞くことを大切に心がけていきたいと思えます。  
 (佐藤環)

【サポートケア県南ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】  
 8月24日(金)に開催された亘理町自立支援協議会主催「障害のある方の福祉・就労フェア」のミニトークコーナーに、県南ありのまま舎を長くご利用いただき、現在グループホームと就労継続支援事業所を利用している利用者に登壇いただき、小生との一問一答に臨んでいただきました。

これまでの生活の経過、今の暮らしと活動状況、これからの暮らしへの希望などを来場された方々を前に壇上から積極的に話しさせていただきました。

高い壇上からマイクを握って話すだけでも緊張すると思えますし、更に自分自身のことを人前でお話していくことの難しさもあろうと思いましたが、事前打ち合わせの時から「分かりました、大丈夫です。」と話して下さり、本番でもまさにその通りに対応して下さいました。

最後の質問で相談支援事業所を利用している率直な感想を述べていただいたのですが「人との出会いが大切で、相談員と出会えたことに感謝しています。」とお話いただいた時、改めて対人援助の役割の重さをしつかりと感じさせていただきました。  
 (齋藤)

【サポートケア名取ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】  
 グループホーム生活から一人暮らしの夢を叶えた知的に障害のあるSさん。母親の入院のためグループホームに入居し、その数ヶ月後、母親は他界されました。Sさんは就職するために馴れない土地をバスで通所を続け、「年内中に就職したい。」と希望され、年は越しましたが願いを叶えました。その後、グループホーム世話人から、Sさんが、「母親が生きているうちに就職したかった」と話していたことを聴きました。そして、就職後、Sさんの願いは、「一人暮らしをする事」になり、その目標を実現するためグループホームでは電子レンジでの調理や洗濯など、本人と一緒に取り組んで下さいました。Sさんは着実に身に付け、その甲斐もあり就労移行支援事業所の方から不動産会社を紹介してもらい職場から近い物件に巡り合いました。

Sさんは困難のなかにいても「願い」を持ちながら真摯に取り組み実現します。Sさんの生きる過程を省察し、「願い」を持つことが生きる原動力になっているのではないかと感じました。これからもSさんが「願い」を実現し、力を発揮できるような伴走者としての役割を果たしていきたいと思えます。  
 (菊地理)

「協力ありがとうございました」  
 「ございました」(敬称略)

【本部】

会報発送のための帯封の糊付けを、東北学院榴ヶ岡高等学校音楽部・仙台西高等学校JRC有志・個人の方々に手伝いいただきました。

会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台東教会・仙台東一番丁教会のみなさま、みやぎ生協のメンバーのみなさまの他、たくさんの方々の方々にお手伝い頂きました。お陰様で今月も全国のご協力者へ約6000通を無事にお送りする事ができております。

【自立センター】

バザー会場やショップセルでは、個人の方々にお手伝い頂いております。

【難病ホスピス】

茂庭台ボランティアグループには、「気ままに書く会」を開いて頂き、楽しく書に親しむ機会を頂いております。また、仙台シルバーネットの皆様には、「読書会」を開いて頂いております。

例年になく暑かった時期もようやく落ち着き、活動しやすい季節を迎えました。いつも寄り添って下さる皆様の温かなお気持ちに心より感謝申し上げます。  
 (鈴木一彦)

創業明治4年

墓碑・記念碑・モニュメント

株式会社 菊手 石材店

●本 店 〒984-0051 仙台市若林区新寺二丁目1-1 TEL 022(256)4450(代) FAX(256)4453  
 ●工 場 〒983-0014 仙台市宮城野区高砂一丁目4-4 TEL 022(259)0750 FAX(259)0843



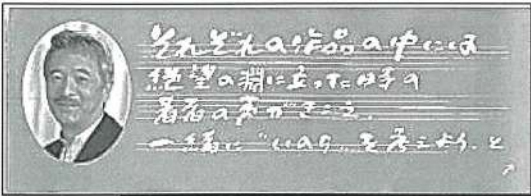
1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)

### 先着10名の方に 書籍プレゼント!

「いのちを語る手記集」②  
この手記集には、「家族、ヴォラ  
ンティアなど周りで共に生き、支  
える12名の作品が掲載されてい  
ます。」

『その朝両親が見たのは、たつち  
やんが涙を一杯流しながら嘔吐し  
ている姿だった。大病院院で出さ  
れた結論は小脳腫瘍。余命はあ  
と3カ月と告げられた。』

明日の朝には言葉を失う手術  
がなされる前の晩、病院を後に  
しようとするお父ちゃんにとび



手記集の帯に歌手のさとう宗幸さんよりいただ  
いたメッセージが記されています。



★お名前・ご住所・連絡先を明  
記の上、お電話・FAX・メ  
ールでお申込ください。  
★送料300円を、ご負担いた  
だきます。(切手)  
★発送を以って代えさせてい  
たきます。

きり明るい最後の声をかけたの  
だ。  
「お父ちゃん。気をつけて帰っ  
てな。お父ちゃんが事故しない  
事だけをボクは祈ってるからな。  
今日もお見舞いに来てくれてあ  
りがとう!」暗い廊下に出て、  
お父ちゃんは号泣した。みなに  
愛されて、彼は6カ月を生き抜  
き、11年の短い人生に幕を閉じ  
た。」  
健気な心で大人の言葉を信じ  
生きる子どもたち。愛おしさが  
込み上げてきます。



【シヨップ提供】  
18 8/23  
(栗原市)  
有限会社アルコン

(川尻誠)

「支援頂きありがとうございます  
ございました(敬称略)」

### 【バザー開催日のご案内】

- 18日(火)ヤマザワ茂庭店(太白区)
- 20日(木)ヨークハーマル新田東店  
(宮城野区)
- 25日(火)袋原(白田区)
- サポーターセンター:太白区
- 27日(木)鶴ヶ谷生鮮いちば  
(宮城野区)
- 29日(土)ありのままのミラセル  
(仙台ありのまま会)
- 10日
- 2日(火)ヨークハーマル山田鉤取店  
(太白区)
- 9日(火)ヨークハーマル南吉成店  
(宮城野区)
- 11日(木)鶴ヶ谷生鮮いちば  
(宮城野区)
- 16日(火)ヤマザワ茂庭店(太白区)
- 18日(木)ヨークハーマル新田東店  
(宮城野区)

「百理ありのまま舎」  
オープニングスタッフを  
募集しています!

平成31年3月開所予定  
(現在建設中)

### 【実施事業】

- ①施設入所支援 定員30名
- ②生活介護 定員50名
- ③居宅介護・重度訪問介護
- ④基幹相談支援センター
- ⑤訪問看護



採用担当 金子・房州  
TEL 022 (281) 1200

⑥診療所  
⑦短期入所  
【主な採用職種】  
○ケアスタッフ  
○看護師(訪問看護含め)  
○理学療法士・作業療法士・  
言語聴覚士(訪問リハ含め)  
○ヘルパー(居宅介護)  
※勤務地  
宮城県百理郡百理町  
※採用予定  
平成30年12月1日  
※必要資格、給与、処遇等は  
お問い合わせください。



ありのまま舎後援会(敬称略)

後援会会員募集中!

ありのまま舎活動を応援  
してくださる方、ぜひご入  
会をお願いいたします。

第5回後援会主催

マリンバ&ピアノコンサート

プロの演奏者をお招きして毎年恒例となったコンサートです。  
ぜひ本格的な演奏をお楽しみください。



マリンバ  
鶴岡たみ子さん

宮城教育大学講師を歴任し、マリンバ打楽器教室主宰。日本打楽器協会会員。宮城県芸術協会会員。仙台桐朋会会長。現在、クラシックから演歌まで取り組み、ジャンルを問わないユニークな「トークと演奏」を企画し好評。



ピアノ  
古賀望子さん

石巻市民交響楽団、宮城教育大学、尚絅学院大学オーケストラとも共演している。現在、山形大学、尚絅学院大学、仙台幼児保育専門学校講師。ソロリサイタル開催の他、室内楽でも多くの演奏会に出演している。

【主な曲目】  
踊り明かそう・サンサーンスの「白鳥」・剣の舞・荒城の月 他

日時 10月20日(土) 14時~15時半  
場所 難病ホスピス太白ありのまま舎  
(仙台市太白区茂庭台2丁目15-30)  
料金 1,000円

【見学会】  
難病ホスピスの見学会も開催します。

【お申込み】

電話・FAXにて受け付けています。  
TEL022(243)1300  
FAX022(243)0322

(13時/コンサート終了後)



スクラップ

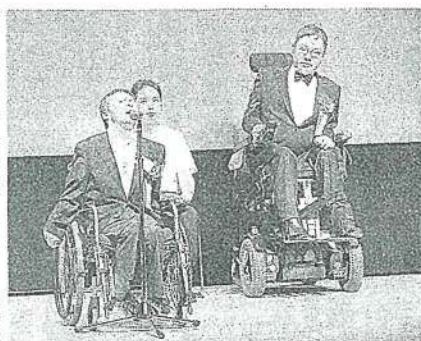
瑤子女王殿下御臨席のもと、  
第20回ありのまま自立大賞授賞式が  
行われました。

【東北放送 平成30年7月22日(日)  
河北新報ニュース放映】

【河北新報  
平成30年7月22日(日)朝刊掲載】 →

自立と支援 努力輝く

仙台・ありのまま大賞 2氏表彰



社会福祉法人ありのまま舎(仙台市太白区)が、自立する障害者や支援者を表彰する第20回ありのまま自立大賞の授賞式が21日、仙台市青葉区であった。自立奨励賞に選ばれたNPO法人日本バリアフリー協会代表理事の貝谷嘉洋さん(47)と語り、

授賞式には、ありのまま舎総裁だった故三宮寛仁さまの次女で選考委員長の瑤子さまも出席された。

貝谷さんは筋シフトロフィーを患いながら単身で米国に留学。1999年に協会を設立し、障害者の音楽コンテストも創設した。授賞式では「微力ではあるが、活動を続けていきたい」とあいさつした。  
宮崎さんは福祉施設法人向けに業務の効率化を支援するシステムなどを開発。「多くの人の支えでこまごまで成長することができた」と語った。

授賞式出席した宮崎さん(左)と貝谷さん